

令和5年度 認定こども園いちじまこども園 こども園評価の結果と改善の方策

教育・保育の理念	<p style="text-align: center;">受容・信頼・貢献 生きよう 力いっぱい 自分らしく まっすぐに</p>	
保育者の姿勢	<p style="text-align: center;">よく見て、よく聴いて、よく考えて言動する</p>	
本年度の重点的改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の特性及び保護者や地域の実態を踏まえ環境を通して教育・保育を行う。</li> <li>・小学校教育につながる「アプローチプログラム」の検討を始める。</li> <li>・感染症対策を強化し、関係機関と協議しながら行事のあり方を検討する。</li> <li>・事故防止及び安全対策の強化をする。</li> <li>・子どもの育ちを家庭と連携並び支援を子育て力の向上に資する。</li> <li>・保護者の協力体制を得て、通信物等のペーパーレス化を図っていく。</li> <li>・園児の実態に応じた教育・保育を工夫し、職員の資質向上を意識し知識や技能を高める。</li> <li>・組織的に課題を解決しようとし、働き方改革と組織力の向上を図る。</li> </ul>	
評価の項目	アンケート結果の考察と今後の方策	
	○成果	△課題
教育・保育の充実	<p>○特色である野外活動や畑の活動を通して地域交流ができたことは保育の充実につながった。</p> <p>○職員がクラス内で教育・保育計画を基に、共通理解やひとり一人を大切にしたい関わりについての話し合いができつつある。</p> <p>○小学校との交流が増えて、つながりが深まった。</p> <p>△ランチルームの絵本の活用頻度が少ない。</p> <p>△職員の行事に対しての自己評価が低い。</p>	<p>・改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育計画に基づいた教材（主に絵本や紙芝居）の在庫確認と整理をし、ねらいをもって活用していく。</li> <li>・教育・保育のねらいや子どもの発達について話す機会を持ち、更に日々の振り返りやクラス運営について話し合う時間をくり返すことを大切にし、自分達の教育・保育に自信がもてるようにしていく。</li> </ul>
健康支援及び衛生管理	<p>○年間を通し備品の点検、補充をしながら管理ができた。</p> <p>○生活習慣等の啓発や保健便り等で健康・衛生に関する保護者支援ができた。</p> <p>△看護師と共に協力して、『健康に関する知識や具体的なケガの処置、体調不良の対応』に保育者も関わる必要がある。</p> <p>△安全のための園内外の環境整備や整理整頓ができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の「ほけんニュース」を活用して保護者と生活全般について共有したい内容を啓発していく。</li> <li>・健康に関する知識を得る研修の機会をつくり、全ての保育者が初期の対応ができるようにしていく。</li> <li>・園内外の安全面の整備や備品置き場の整理を進める。</li> </ul>
食育の推進	<p>○啓発看板、ポスターの掲示、食事ランチョンマット作成と使用、畑の活動の推進、収穫祭計画と実施、食育絵本の紹介と活用、給食会議の発案から献立、食材の工夫ができた。</p> <p>△感染対策によってクッキング活動ができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の歌や手遊びを再開し、日頃から『早寝・早起き・朝ごはん』の大切さを啓発していく。</li> <li>・畑の活動を強化し年間を通して地域の方々との計画的に取り組めるように工夫をする。</li> <li>・クッキング活動を再開して、収穫の喜びや食べる楽しさを味わえるようにしていく。</li> </ul>
災害への備え及び安全管理	<p>○年間を通して安全を守るため避難訓練、引き渡し訓練等の実施ができた。</p> <p>○防犯のため園舎への侵入を防ぐ門扉が完成した。</p> <p>△安全計画が有効に教育・保育に活用できていない。</p> <p>△職員が計画された避難訓練等の想定外の訓練に慣れてしまっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期被害時を想定して非常食備蓄の検討をする。</li> <li>・子どもの生活や活動に合わせて安全計画を見直し実行していく。</li> <li>・常に園内外の安心、安全な環境を意識して整える。</li> <li>・事業継続計画の作成や想定外の災害時の対応を考えて職員が臨機応変に行動できる訓練を実践していく。</li> </ul>
子育て支援	<p>○個々の連絡や保護者との懇談、相談等を丁寧に行うことで、家庭との連携が進められた。</p> <p>○保護者の協力を得て、通信物等のペーパーレス化に努めた。</p> <p>△ブログを活用しているが閲覧されず関心が少ない。試行に問題があるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログの趣旨について再検討し、魅力ある内容で活用しやすいものにしていく。</li> <li>・園児がこれまで以上に活動しやすい服装（スモック）の着用について、保護者と共有しながら検討を進めていく。</li> </ul>
人材育成	<p>○研修を受ける前に小集団でクラスの子ども達について話し合うことができた。研修に参加できなかった職員もビデオ視聴により同じ研修を受けることができ良かった。</p> <p>△園の目指す子ども像を職員間で共有し、自分自身の意識を高めていくには、どうしたらよいのか。</p> <p>△日々の保育の中で保育者が保護者との感覚に違いを感じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が研修した内容を職員全体に報告できる機会をつくって還流できるようにしていく。</li> <li>・日常の保育をお互いに見合う機会をつくる。また、自分の思いを伝え合い教育・保育の意欲を高めていく。</li> <li>・保護者との感覚の違いがあることを理解した上で、会話の仕方や物事の伝え方を勉強していく。</li> </ul>
アンケート・自己評価・改善方策についての評価委員による総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との合同研修は、園と小学校の接続期の充実につながっている。また個々の成長を見取り、個々のペースを大事にされている支援方法についても引き継ぐことが大切である。</li> <li>・感染症対策をしながら、各行事の実施方法等なども苦労され教育・保育の企画や運営に取り組まれている。また子どもを中心とした行事はありのままの姿で生き生きと感じた。</li> <li>・家庭との連携をとりながら、ブログの活用法について検討し閲覧率を上げると共に事務の簡素化、職員の働きやすい環境づくりの推進なども望みます。</li> <li>・通信物のペーパーレス化は、イロドリリンクの活用が上手にできていた。</li> </ul>	
来年度の重点的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修の年間計画を立て、全職員が学び合う環境を整え、教育・保育の質の向上に努める。</li> <li>・園外研修で学んできたことを他の職員にも広げるため、還流できる具体的な方法を検討し実施していく。</li> <li>・こども園安全教育計画を見直し、園の現状や実態の即したもので、より安全な生活・環境を確保できる内容に改定する。</li> <li>・ブログやホームページの閲覧率が低いことについての対策と職員の事務の効率化、ペーパーレス化の面から、お便りやブログ、連絡帳など園から発信している情報について総合的に見直し、情報器具の活用法と効果的な伝え方について検討を進め、可能なことから実施をしていく。</li> </ul>	

